

# 青年に安心と未来ある雇用を

## 3人に1人が非正規雇用

新年になっても庶民の懐具合は、温まるより寒くなるばかりです。それどころか若者や高齢者の雇用環境は、厳しくなるばかり。パートやアルバイト、派遣や請負、契約社員など呼び名は様々ですが、非正規雇用の方々が増大し、05年には1633万人にのぼり労働者の3割を超えました。10年前の1.6倍です（表参照）。

しかも、賃金は生活を支えられないほどの低賃金です。パートなど非正規で働く者の賃金水準は、正規社員の25%程度。年収200万円未満が8割にも及びます。マスコミも「ワーキングプアの急増」などと特集を組むなど社会問題化しています。

## 非正規増大は日本の未来ゆるがす大問題

非正規雇用で働く者を増大させているのは、財界と政府の雇用政策です。この結果は、日本の未来に大きな禍根を残します。労災の激増、企業不祥事の多発、熟練継承の断絶、技術開発の立ち遅れ、職場モラルの低下と職場に矛盾を噴出させるでしょう。希望さえ持てない働き方では結婚すらできず、いっそうの少子化が進むでしょう。年金など社会保障制度の根底も揺るがすものです。

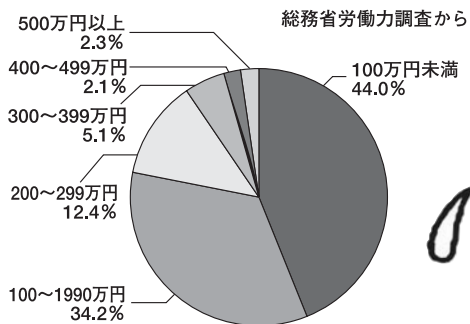
安倍内閣が進める労働の「構造改革」に歯止めをかける年にしましょう。

## 10年間で1.6倍!

		1995年 (万人)	2005年 (万人)
男女計	役員を除く雇用者	4,780	5,007
	正規職員・従業員	3,779	3,374
	非正規労働者	1,001	1,633
	パート・アルバイト	825	1,120
	パート	563	780
	アルバイト	262	340
	派遣社員		106
	契約社員・嘱託 その他	176	278
		129	

資料：2005年は総務省「労働力特別調査」（各年2月）、2005年は「労働力調査（詳細結果）」（年平均）

### 非正規雇員の8割は年収200万円未満(2005年)



## 派遣 偽装請負は違法行為

「請負法制に無理があり、見直してほしい」——政府経済財政諮問会議での御手洗日本経団連会長（キャノン）の話。企業の使い勝手が悪いから法律を変えろ、本当に勝手な話です。派遣労働者を請負と偽って働かせている大企業こそ法律を守り、一定期間を過ぎた派遣労働者を正規社員にすることこそ当然です。

### 派遣・請負会社の7～8割が法令違反労働者派遣業者への指導・監督状況

